

令和2年8月

第1回臨時教育委員会会議

会 議 録

令和2年8月4日開催

会 議 録

開催日時	令和2年8月4日(火)	午後2時	開会 午後3時54分 閉会
場 所	旭川市教育委員会 会議室		
出席者	教育長及び委員	教育長 黒蕨 真一, 教育長職務代理者 本田 哲嗣, 委員 滝山 義之 委員 近藤 美保, 委員 山崎 與吉	
	事務局 説明員	学校教育部長 山川 俊巳 学校教育部次長 林上 敦裕 学校教育部次長 岩崎 昌美 学校教育部次長 佐藤 潤一 教育指導課主幹 辻並 浩樹	
	事務局 職員	教育政策課 上江 昌弘 同 宮嶋 健吏 学務課主査 長井 恵 学務課 及川 修二	
	旭川市教科書調査委員会	音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長 尾崎 朋子 美術小委員会小委員長 村田 靖彦 技術及び家庭小委員会小委員長 目黒 克彦 特別支援教育小委員会小委員長 岡崎 良昭 同 委員 萩野 里香	
傍聴者	0人		
公開・非公開の別	一部非公開		
会議次第	1 開会 2 会議録署名委員 3 前回会議録 4 審議事項 ・議案第1号 令和3年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書 の採択について 5 その他 6 閉会		

審 議 内 容		
発 言 者	発 言 要 旨	
教 育 長	<p>《 開 会 》</p> <p>ただいまから、令和2年8月第1回臨時教育委員会会議を開会します。</p> <p>《会議録署名委員》</p>	
教 育 長	<p>本日の会議録署名委員は、滝山委員、近藤委員を指名をします。</p> <p>《 前回会議録 》</p>	
教 育 長	<p>会議録ですが、令和2年3月定例教育委員会会議（令和2年3月26日開催）については既にお手元に配付されておりますが、これらの内容について、御意見はありますか。</p>	
各 教 育 員 長	<p>ありません。</p>	
各 教 育 員 長	<p>御意見がありませんので、令和2年3月定例教育委員会会議の会議録については、承認することで御異議ありませんか。</p>	
各 教 育 員 長	<p>異議ありません。</p>	
各 教 育 員 長	<p>「異議なし。」と認め、令和2年3月定例教育委員会会議の会議録については、承認することといたします。</p> <p>令和2年4月定例教育委員会会議（令和2年4月21日開催）、令和2年5月第1回臨時教育委員会会議（令和2年5月6日開催）、令和2年5月定例教育委員会会議（令和2年5月22日開催）、令和2年6月定例教育委員会会議（令和2年6月29日開催）及び令和2年7月定例教育委員会会議（令和2年7月27日開催）の会議録については、現在調製中でございますので、調製後、承認するということがよろしいですか。</p>	
各 教 育 員 長	<p>異議ありません。</p>	
各 教 育 員 長	<p>「異議なし。」と認め、令和2年4月定例教育委員会会議、令和2年5月第1回臨時教育委員会会議、令和2年5月定例教育委員会会議、令和2年6月定例教育委員会会議及び令和2年7月定例教育委員会会議の会議録については、調製後、承認することといたします。</p> <p>《 審 議 事 項 》</p>	
教 育 長	<p>それでは、審議事項に入ります。</p> <p>令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立中学校用教科用図書採択について」ですが、その性質上、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により秘密会といたしたいと思っておりますが、いかがですか。</p>	
各 教 育 員 長	<p>異議ありません。</p>	
各 教 育 員 長	<p>「異議なし。」と認め、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書採択について」は、秘密会といたします。</p> <p>《 そ の 他 》</p>	
教 育 長	<p>他に、何かありますか。</p>	
各 教 育 員	<p>ありません。</p>	

事務局	<p>ありません。</p>
教育長	<p>《 秘 密 会 》</p>
教育長	<p>ここからは、秘密会といたします。それでは、前回に引き続き、令和2年7月27日付け提出の議案第1号「令和3年度から使用する旭川市立小学校用教科用図書の採択について」を議題といたします。</p>
教育長	<p>前回の会議では、教科書採択の意義、採択方針の再確認を行ったほか、審議の進め方も確認したところでございます。</p>
各委員	<p>ここで皆さんにお諮りしますが、本日は前回に引き続き、旭川市教科書調査委員会各小委員会小委員長及び必要に応じて委員長を補佐する者の出席を求め、順次その説明を受け、次に委員の皆様から質問を行っていただき、この質問を通じて必要な調査結果・調査内容を求める形で審議を進めたいと思います。本日報告いただきますのは、音楽一般、音楽器楽合奏、美術、技術、家庭、特別支援の6種目であります。次に、7月27日に各調査委員から報告のありました種目ごとについて、発行者が4者以上あるうちから、採択の審議対象とするものを絞り込み、各委員の皆様にご発表いただきたいと考えておりますが、このような進め方でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>異議ありません。</p>
委員	<p>「異議なし。」と認め、早速ではございますが、審議に入りたいと思います。</p>
委員	<p>暫時休憩いたします。</p>
委員	<p>(音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長入室)</p>
教育長	<p>再開いたします。</p>
教育長	<p>最初に、音楽一般及び器楽合奏の審議を始めます。本日は、御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。旭川市教科書調査委員会の小委員長のお立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。なお、挨拶も含めて、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際には、着席したままで結構です。それでは、よろしくお願いします。</p>
尾崎小委員長	<p>音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長の尾崎朋子でございます。よろしくお願いたします。</p>
尾崎小委員長	<p>本小委員会は、7名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、音楽一般、器楽合奏それぞれ2者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。</p>
尾崎小委員長	<p>はじめに、音楽一般の調査結果について報告いたします。</p>
尾崎小委員長	<p>調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるよう、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。</p>
尾崎小委員長	<p>1 ページの取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等については、いずれの発行者においても音楽科の目標である「生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力の育成」が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。</p>
尾崎小委員長	<p>2 ページ下段に記載しております指導上の配慮等については、地域素材、ICTの活用、小中連携による指導の3点について調査研究を行いました。</p>
尾崎小委員長	<p>1 つ目、地域素材につきましては、両者とも北海道の民謡である「ソーラン節」や「江差追分」などの楽曲が取り扱われておりました。教育出版におきましては、本市にゆかりのある楽曲である「雪の降る街を」や旭川市大雪クリスタルホール内にある詩碑やホール外観の写真などが取り扱われておりました。</p>

2つ目、ICTの活用につきましては、両者ともに、QRコードから各者の専用Webサイトに接続し、楽曲の演奏音源や関連画像などを閲覧できるようになっておりました。また、音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用に関する資料が教科書に掲載されておりました。教育出版におきましては、専用Webサイトの中で、合唱や鑑賞のパートごとの演奏音源やワークシートなどが取り扱われており、様々なコンテンツを学習に活用することができるよう工夫がなされておりました。

3つ目、小中連携による指導につきましては、両者ともに、小学校の共通教材を発展させて取り扱い、小学校における学びを生かして取り組むことができるよう配慮がなされておりました。教育芸術社におきましては、創作の学習の手順を丁寧に示した学習活動が設定されており、小学校で学んだ楽器やリズム、音楽の構成などを活用し、小学校での音楽づくりの学びを振り返りながら取り組むことができるよう配慮がなされておりました。

3ページに記載しております本市生徒の学習の状況等につきましては、本市生徒の音楽科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

1つ目、音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫することにつきましては、両者ともに、巻頭のページにおいて、音楽の特徴や雰囲気を感じ取る際に手掛かりとなる〔共通事項〕を示す工夫がなされておりました。

2つ目、曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現することにつきましては、両者ともに、自分の気付きや考えを記述するワークシート欄が設定されておりました。教育出版におきましては、学習の見通しをもち、活動に合わせながら気付きや考えを整理することができるようワークシートの構成の工夫がなされておりました。

3つ目、鑑賞において、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、自己のイメージや感情を伝え合い、互いの感じ方や考え方に共感することにつきましては、両者ともに、互いの感じ方や考え方を交流する活動が設定されておりました。教育出版におきましては、「何が同じで、何がちがう」を設定し、音楽の特徴について比較しながら整理して、共通点や相違点について互いに紹介する活動を位置付けるなどの工夫がなされておりました。

音楽一般の調査結果については、以上になります。

続いて、器楽合奏の調査結果について報告いたします。音楽一般と同様に、別紙様式2に沿って説明をさせていただきます。

1ページの取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等については、いずれの発行者においても、音楽科の目標である、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

1ページ下段から2ページに記載しております指導上の配慮等については、音楽一般と同様に地域素材、ICTの活用、小中連携による指導の3点について調査研究を行いました。

1つ目、地域素材につきましては、両者ともに、北海道と関わりのある楽曲が取り扱われておりました。教育出版におきましては、楽器の文化や伝統を調べるコーナーの中で、アイヌ民族の楽器である「トンコリ」が取り扱われておりました。

2つ目、ICTの活用につきましては、両者ともに、QRコードから各者の専用Webサイトに接続し、関連の音源や動画を視聴・閲覧することができるようになっておりました。教育出版におきましては、各楽器の奏法や範奏の動画、音源などが多数掲載されており、学習場面で活用することができるよう工夫がなされておりました。

3つ目、小中連携による指導につきましては、両者ともに、小学校で取

	<p>り扱ったソプラノリコーダーと中学校で取り扱うアルトリコーダーの共通点や相違点を示し、無理なく移行できるよう配慮がなされておりました。</p> <p>２ページに記載しております本市生徒の学習の状況等につきましては、本市生徒の音楽科において見られる課題の解決に資する特徴として２点について調査研究を行いました。</p> <p>１つ目、音楽の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を生かして表現を工夫することにつきましては、両者ともに、リコーダーで他者と音を重ねて演奏する良さを感じ取ることができる練習曲が設定されておりました。教育芸術社におきましては、旋律楽器と打楽器や手拍子を組み合わせるなど、様々な編成に対応した合奏曲が設定されるなどの工夫がなされておりました。</p> <p>２つ目、曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを捉えて表現することにつきましては、両者ともに、楽器の歴史や構造、奏法、演奏上の注意点などが丁寧に示されており、手元や楽器の構え方が分かる写真や囲みなどで楽器の歴史や文化、曲の特徴などの理解を促すよう工夫がなされておりました。</p> <p>器楽合奏の調査結果については、以上になります。</p> <p>質疑は音楽一般と器楽合奏に分けたいと思います。</p> <p>まずは音楽一般について、御意見、御質問等がありますか。</p>
教 育 長 本 田 委 員	<p>鑑賞領域についてですが、鑑賞において想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、個々のイメージや感情を伝え合い、互いの感じ方や考え方に共感することにつきましては、両者とも盛り込まれていることですが、学習指導要領の指導計画の作成と内容の取扱いの鑑賞部分で、前段の感じ方、考え方を交流することについては適したものになっていると思いますが、後段には「曲や演奏に対する評価やその根拠を明らかにできるよう指導を工夫すること。」と表記があります。そのことに配慮されている教科書はありますか。</p>
尾 崎 小 委 員 長	<p>両者とも、ワークシート形式で生徒たちが直接書き込めるようなつくりになっておりますが、教育出版では、生徒たちが感じたこと、考えたこと、思ったことを段階を追って書き込むようなつくりになっております。教育芸術社では、段階的というよりは、最終的に生徒たちの思いを書くようなつくりになっていると思います。</p>
教 育 長 尾 崎 小 委 員 長	<p>ICTの活用について、調査研究した内容を詳しく教えてください。</p> <p>教育出版では、QRコードから、合唱曲の部分パートや、鑑賞では、細かい資料が直接出てくるつくりになっております。また、教育芸術社では、外部リンクにつながります。例えば、ブルダバという曲のQRコードからは、外務省のチェコのページにつながるようなコンテンツになっておりますので、生徒たちが自主的に練習したり、学びを深めていけるようなものになっていると思います。</p>
教 育 長 各 委 員	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p>
教 育 長 本 田 委 員	<p>続いて、器楽合奏について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ギターのコードが出ていて、個人によって好き嫌いはあると思うのですが、教育出版は写真で示されていて、教育芸術社は図で示されています。ギターの指導をしやすいのはどちらでしょうか。</p>
尾 崎 小 委 員 長	<p>奏法については、写真を掲載している教育出版の方が見やすいと思いました。</p>
教 育 長 各 委 員	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p>
教 育 長	<p>それでは、音楽一般及び器楽合奏の審議はこれで終了します。ありがとうございました。</p>
尾 崎 小 委 員 長	<p>ありがとうございました。</p>

<p>教 育 長</p>	<p>暫時休憩いたします。</p> <p>(音楽一般及び器楽合奏小委員会小委員長退室) (美術小委員会小委員長入室)</p>
<p>教 育 長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>次に、美術の審議を始めます。本日は、御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。旭川市教科書調査委員会の小委員長のお立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。なお、挨拶も含めて、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際には、着席したままで結構です。それでは、よろしく申し上げます。</p>
<p>村田小委員長</p>	<p>美術小委員会小委員長の村田靖彦でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>本小委員会は、5名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、3者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。</p> <p>1 ページの取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等については、いずれの発行者においても、美術科の目標である、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。</p> <p>2 ページ中段に記載しております指導上の配慮等については、地域素材、ICTの活用、小中連携による指導の3点について調査研究を行いました。</p> <p>1 つ目、地域素材につきましては、各者ともに、北海道と関わりのある作品や風景の画像などが取り扱われておりました。光村図書におきましては、伝統的な文様の絵柄から生活との関わりを感じ取って文様をつくる題材で、旭川市博物館が所蔵しているアイヌ民族の衣装の文様が取り扱われておりました。</p> <p>2 つ目、ICTの活用につきましては、各者ともQRコードからWebサイトに接続し、関連作品の画像や映像などを閲覧できるようになっておりました。また、ICT機器を使った撮影や編集の技法について資料として掲載されておりました。日本文教出版におきましては、デジタルカメラやタブレット端末などの撮影機器や編集ソフトを活用して、学校紹介ムービーやコマーシャルなどを作成する題材を設定し、映像表現について学ぶことができるよう工夫がなされておりました。</p> <p>3 つ目、小中連携による指導につきましては、各者ともに、オリエンテーションのページで小学校と中学校の学習のつながりを意識した内容が掲載されておりました。日本文教出版におきましては、見開きページを使い、各学年で取り組む内容について、系統的に示し、小学校からつながる中学校3年間の学習を見通すことができるよう配慮がなされておりました。</p> <p>2 ページ下段から3 ページに記載しております本市生徒の学習の状況等につきましては、本市生徒の美術科において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。</p> <p>1 つ目、目的や条件などを基に強く感じたことや表したいことを考え、豊かに発想することにつきましては、各者ともに、発想・構想の方法や学習の進め方が掲載されておりました。特に、光村図書、日本文教出版の2者におきましては、作品をつくるまでの構想の過程を画像とともに紹介し、生徒が豊かに発想・構想できるよう工夫がなされておりました。</p> <p>2 つ目、絵に表現する活動において、形や色、光や影などの性質や、そ</p>

	<p>れらが感情にもたらず効果などを理解して表現することにつきましては、各者ともに、資料のページに具体的な技法の例や〔共通事項〕である形や色などに関わる資料を掲載しており、学習に活用できるよう工夫がなされておりました。</p> <p>3つ目、鑑賞において、作者の心情や表現の意図などについて考え、見方や感じ方を広げたり深めたりすることにつきましては、各者ともに、鑑賞活動への動機付けとなるよう「作者の言葉」や作品の解説が掲載されておりました。開隆堂におきましては、鑑賞の流れを図説し、深い学びにつながるような工夫がなされておりました。また、光村図書、日本文教出版の2者におきましては、版画紙のような風合いの紙を使用したり、実際の版に近い色を再現したりするなど、実物に近い感覚を味わうことができるよう工夫がなされておりました。</p> <p>美術の調査結果については、以上になります。</p>
教 育 長 本 田 委 員	<p>美術について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>本市の生徒の実態の中で、自分が表したいことを豊かに発想し、構想を練ることが挙げられていました。学習指導要領の指導計画の作成と内容の取扱いの中で、発想・構想の手立てとして、アイデアスケッチを行うとのことですが、アイデアスケッチに関わって特徴的であった教科書はありましたか。また、施設や文化財について、本市にも美術館はありますが、美術館や博物館との連携について、生徒に示すことが可能な教科書はありましたか。</p>
村 田 小 委 員 長	<p>まず、1つ目の構想の手段であるアイデアスケッチにつきましては、下描きの下描きを作成する作業となります。その段階で、マッピングといって、ある言葉から広げていくことをしているのですが、アイデアスケッチとマッピングについては、光村図書と日本文教出版の2者において解説が細かくされておりました。</p> <p>2つ目については、3者とも工夫されており、使いやすいものとなっておりますが、日本文教出版の資料を見ますと、美術館への接続の部分や北海道の文化や資源について、分かりやすいものとなっております。</p>
本 田 委 員	<p>目標の表記についてですが、3者のうちの2者、日本文教出版と開隆堂は、3本の柱で記載されていますが、領域でしか目標が記載されていないものがあります。今回重要なこととしては、3本の柱だと思しますので、表記としては、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3本の柱と押さえておいて良いですか。</p>
村 田 小 委 員 長	<p>教科書の見開きにまず題材があって、その横に目標が書かれていることが多いのですが、例えば日本文教出版では、3本の目標が書かれているので、生徒たちにとっても分かりやすいですし、教員にとっても評価のしやすいものとなっております。ただし、他の教科書についても、例えば小タイトルの中に表記されているものもありますので、問題はないと思います。</p>
教 育 長	<p>美術におけるICTの活用について、動画に対する理解を深めることは、どのような位置付けになるのでしょうか。</p>
村 田 小 委 員 長	<p>QRコードからアクセスすることについては、家庭学習でも活用できるものと思います。教科書の中では紹介のムービーやコマースャルづくりについて取り扱っていますが、パラパラ漫画といった素材を実際に映像で見せてあげると、生徒にとって分かりやすいものになり、ICTの画像、パソコンやタブレット端末、デジタルカメラでも活用することができますので、映像を使って分かりやすく、限られた授業時間の中では活用しやすいものになっていると思います。日本文教出版と光村図書については、多く含まれていますが、内容としては、どの発行者も同じようなものとなっております。</p>
教 育 長 各 委 員	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p>

教 育 長 村 田 小 委 員 長 教 育 長	それでは、美術の審議はこれで終了します。ありがとうございました。 ありがとうございました。 暫時休憩いたします。
教 育 長	(美術小委員会小委員長退室) (技術及び家庭小委員会小委員長入室) 再開いたします。
目 黒 小 委 員 長	次に、技術及び家庭の審議を始めます。本日は、御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。旭川市教科書調査委員会の小委員長のお立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。なお、挨拶も含めて、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際には、着席したままで結構です。それでは、よろしく願います。 技術・家庭小委員会小委員長の目黒克彦でございます。よろしくお願いいたします。 本小委員会は、6名の調査委員により構成され、3回の小委員会を開催し、技術分野、家庭分野それぞれ3者の教科用図書について、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。 はじめに、技術分野の調査結果について報告いたします。 調査結果につきましては、発行者ごとに別紙様式1に記載しております。また、観点ごとに各発行者の特徴を比較できるように、別紙様式2に一覧で整理しておりますので、こちらに沿って説明をさせていただきます。 1 ページの取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等については、いずれの発行者においても、技術分野の目標である、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力の育成が図られるよう、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。 2 ページ下段から3 ページ上段に記載しております指導上の配慮等については、地域素材、ICTの活用、小中連携による指導の3つについて調査研究を行いました。 1 つ目、地域素材につきましては、各者ともに、北海道の酪農や農作物などが扱われておりました。開隆堂におきましては、北海道に関わりのある農作物の栽培例が多く取り扱われておりました。 2 つ目、ICTの活用につきましては、各者ともに、教科書に記載されているQRコードを端末等で読み込ませると専用サイトに接続され、必要な動画等が閲覧できるようになっておりました。東京書籍におきましては、実習作業の手順を示した動画や内容に関わる他教科の関連資料などを授業の中で活用できるよう配慮がなされておりました。また、開隆堂におきましては、専用Webサイトに各内容の目次が示されており、現在の学習に必要なものだけでなく、既習の学習の振り返りを行う上でも分かりやすい配置になっておりました。 3 つ目、小中連携による指導につきましては、各者ともに、小学校で学習したプログラミングソフト「Scratch」の説明が掲載されておりました。また、関連する学年や学習内容に関わる項目にマークを付けて分かりやすくする配慮がなされておりました。教育図書におきましては、各章の最初のページに「リンク」で、小学校で学習した教科名が分かるようになっており、小学校の既習事項を振り返りながら学習に取り組むことにより、中学校の技術分野の学習に対する興味・関心を高められるよう配慮がなされておりました。 3 ページに記載しております本市生徒の学習の状況等につきましては、本市生徒の技術分野において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

1つ目、自らの力で生活の中から問題を見出し、見方・考え方を働かせて、より良い生活となるよう工夫し創造する力の育成につきましては、各者ともに、自ら考えて課題を解決する工夫として、問題解決例や課題解決的な学習例が設定されておりました。教育図書におきましては、各内容の2章に題材例を示し、問題解決の手順を掲載しており、課題解決を行う上でも工夫がなされておりました。また、開隆堂におきましては、「A 材料と加工に関する技術」から「D 情報に関する技術」までの全ての内容の実習例に、問題解決の手順や実習例が10から20ページ程度掲載されており、課題解決を行う上での工夫がなされておりました。

2つ目、授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力の育成につきましては、各者ともに、学習のまとめや振り返りを掲載し、学んだ技能を生活に生かす課題が設定されておりました。東京書籍におきましては、巻末に資料として、プログラミングについて掲載されておりました。また、開隆堂におきましては、巻末に資料としてワープロ、表計算、プレゼンテーションなどのアプリケーションソフトの操作方法やプログラミングについて掲載されており、学習を振り返りながら実践的な技能を生かすための工夫がなされておりました。

3つ目、学んだ知識を実生活の事象などと関連付けて定着させることにつきましては、各者ともに、学んだ知識を確かめ、技術と生活との関連を考えさせる工夫がなされておりました。

技術分野の調査結果については、以上でございます。

続いて、家庭分野の調査結果について報告いたします。技術分野と同様に、別紙様式2に沿って説明をさせていただきます。

1ページの取扱内容、内容の構成・排列・分量等、使用上の配慮等については、いずれの発行者においても、家庭分野の目標である、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力の育成が図られるよう学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。

2ページ中段に記載しております指導上の配慮等については、地域素材、ICTの活用、小中連携による指導の3つについて調査研究を行いました。

1つ目、地域素材につきましては、各者ともに、北海道の食材や2重窓などの特徴的な建築などが取り扱われておりました。特に、東京書籍、開隆堂におきましては、北海道で捕れる魚や野菜、郷土料理などが多く扱われておりました。

2つ目、ICTの活用につきましては、各者ともに、教科書に記載されているQRコードを端末等で読み込ませると専用サイトに接続され、必要な動画等が閲覧できるようになっておりました。開隆堂におきましては、専用サイトに各内容の目次が示されており、現在の学習に必要なものだけでなく、既習の学習の振り返りを行う上でも分かりやすい配置になっておりました。

3つ目、小中連携による指導につきましては、各者ともに、教科書の最初にあるガイダンスにおいて、小学校家庭科で学んだことを振り返り、これから中学校家庭分野で学ぶ内容について説明が掲載されておりました。東京書籍におきましては、ガイダンスにおいて、小学校家庭科と中学校家庭分野との学習内容の関連が分かるよう構成されているとともに、これから学ぶ内容に関連する小学校の教科や他教科の学習項目が記載されるなど、小学校の学習を意識した配慮がなされておりました。

2ページ下段から3ページに記載しております本市生徒の学習の状況等につきましては、本市生徒の家庭分野において見られる課題の解決に資する特徴として3点について調査研究を行いました。

1つ目、自らの力で生活の中から問題を見出し、見方・考え方を働かせて、より良い生活となるよう工夫し創造する力の育成につきましては、各者ともに、自ら考えて課題を解決する工夫として、問題解決例や課題解決

教 育 長	<p>的な学習例が設定されておりました。特に、教育図書、開隆堂におきましては、身の周りのことを中心とした「考えてみよう」、「話し合ってみよう」などの導入課題を設定し、学習への動機付けができるよう工夫がなされておりました。</p> <p>2つ目、授業の中で身に付けた技能を生かして、実生活の中の問題を解決する力の育成につきましては、各者ともに、生活の課題を考え、解決する方法を考えることができる工夫として、課題解決例や計画例などが設定されておりました。特に、教育図書、開隆堂におきましては、「私のアレンジ」や「調理方法Q&A」などを設定し、生徒が身に付けた技能を生かして、家庭で実践できるよう工夫がなされておりました。</p> <p>3つ目、学んだ知識を実生活の事象などに関連付けて定着させることにつきましては、各者ともに、学んだことを実生活につなげる課題を設定し、学習したことを生活に生かす手立てを考える工夫がなされておりました。</p> <p>家庭分野の調査結果については、以上になります。</p> <p>質疑は技術と家庭に分けたいと思います。</p> <p>まずは技術について、私から質問させていただきます。</p> <p>技術の実習に当たり、安全に作業を行うことに関して特徴のあった教科書はありましたか。また、技能の実践的な活動が重要になると思いますが、その活動を促進する部分において特徴のあった教科書はありましたか。</p>
目黒小委員長	<p>まず、安全に関しましては、どの教科書も最初のガイダンスにおいて2、3ページにわたって記載されており、QRコードにおいても説明がありますので、3者の大差はないと思います。</p> <p>また、実習に関しましては、実習例はたくさん掲載されていますが、どの教科書も同じ形で課題の設定から実践まで統一されていますので、生徒たちはどれを選んでも分かりやすく学べるものと考えております。</p>
教 育 長 各 委 員 教 育 長 本 田 委 員	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>続いて、家庭について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>本市の生徒の実態の中で、問題解決の過程を評価・改善する学習活動を位置付けることが示されていて、今の報告では、本市生徒の学習の状況等の中の1つ目に関わる内容であり、問題解決型の学習を進めるに当たっては、教育図書と開隆堂の2者が特徴的であったということですか。</p>
目黒小委員長 教 育 長	<p>そのとおりです。</p> <p>食品の安全性、消費者被害に関することなど、家庭分野における今日的な課題を取り扱っている教科書で、特徴的なものはありますか。</p>
目黒小委員長	<p>現在の感染症に関して、清潔に調理実習を行うことについては、各者とも取扱いがありました。開隆堂においては、動画で除菌の方法について取扱いがありました。そのほかに、SDGsについては、用語としては3者とも出ていますが、開隆堂においては、全ての内容について関連付けて考えてみようという投げかけをしているコーナーが6か所ほどあります。他の2者は1か所でしたが、家庭分野とSDGsの関連性が出てくる場面が多いですので、生徒たちに投げかけをして考えさせることについては有益であると思います。</p>
教 育 長 各 委 員 教 育 長	<p>他に御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、技術及び家庭の審議はこれで終了します。ありがとうございました。</p>
目黒小委員長 教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>(技術及び家庭小委員会小委員長退室)</p>

教 育 長	<p>再開いたします。</p> <p>次は、特別支援教育になりますが、特別支援学級においては、生徒の必要に応じて、ただいま審議している文部科学省検定済み教科用図書の下学年用や、文部科学省著作教科書、そして一般図書の中から選んで使用しているわけではありますが、今回特別支援教育小委員会では、文部科学省著作教科書について、小委員会で調査いただいておりますので、報告をいただきます。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>(特別支援教育小委員会小委員長及び委員入室)</p>
教 育 長	<p>再開いたします。</p> <p>次に、特別支援教育の審議を始めます。本日は、御多用のところ、教育委員会会議に御出席いただきまして、ありがとうございます。旭川市教科書調査委員会の小委員長のお立場から、調査研究結果について、答申書に基づいて御説明をお願いします。なお、挨拶も含めて、調査研究結果についての報告や説明、質問に対する回答の際には、着席したままで結構です。それでは、よろしく申し上げます。</p>
岡 崎 小 委 員 長	<p>特別支援教育小委員会小委員長の岡崎良昭でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>特別支援教育小委員会は、3名の調査委員により、3回の小委員会を開催し、知的特別支援学校中学部用教科書(☆印)国語が1者、数学が1者、音楽が1者の☆4つと☆5つについて、旭川市教育委員会の教科用図書の採択方針に基づき調査研究を行いました。</p> <p>調査結果については、教科ごとに別紙様式1に記載しております。</p> <p>知的障害者用の文部科学省著作教科書には小学部及び中学部の国語、算数・数学、音楽の教科書があります。各教科書は、学習指導要領における特別支援学校(知的障害)の各教科に示している内容に対応して作られております。したがって学年の表示はなく、星の数で段階を示すことによって、個々の状態に応じて適切な段階のものを使用することができます。段階は、小学部が1, 2, 3段階、中学部が、新学習指導要領から1, 2段階となっております。</p> <p>中学部1段階では、主として生徒自ら主体的に活動に取り組み、経験したことを活用したり、順番を考えたりして、日常生活や社会生活の基盤を育てることをねらいとする内容、中学部2段階では、主として生徒が自ら主体的に活動に取り組み、目的に応じて選択したり、処理したりするなど工夫し、将来の職業生活を見据えた力を身に付けられるようにすることをねらいとした内容を示しております。</p> <p>国語と音楽の発行元は東京書籍、数学の発行元は教育出版となっておりますが、いずれも著作権は文部科学省にあります。よって複数の発行元を比較するという調査ではありません。</p> <p>知的障害のある生徒の学習上の特性として、習得した知識や技能が偏ったり、断片的になりやすかったりすることがあります。そのため、習得した知識や技能が実際の生活には応用されにくい傾向があります。また、抽象的な内容より、実際の・具体的な内容の指導の方が効果的であると言われております。</p> <p>それでは、特別支援教育の調査結果について報告いたします。</p> <p>最初に、取扱内容につきましては、それぞれ、国語、数学、音楽の育てたい資質・能力と日常生活の関連を意識し、学習活動が設定され、構成等の工夫がなされておりました。</p> <p>次に、内容の構成・排列・分量等につきましては、内容の分量について、☆の数が增多るごとに、学習活動が日常生活や社会生活に広がるよう配慮</p>

			<p>がなされておりました。</p> <p>次に、使用上の配慮等につきましては、それぞれ、各教科等を合わせた生活単元学習や作業学習等の指導、自立活動との関連を図ることにより、日常化、生活化することができ、生徒の学習意欲を高める工夫がなされておりました。</p> <p>次に、指導上の配慮等につきましては、それぞれ、小中連携について、使用する学年の表示がなく、生徒の発達段階に合わせて使用することができるよう配慮がなされておりました。</p> <p>最後に、本市生徒の学習の状況等につきましては、知的障害のある生徒の実態から、「目で見て理解する」、「イメージをもつ」という観点で調査研究を行いました。それぞれ、イラストや図、写真などを多く取り入れ、視覚から内容を捉えられるような工夫がなされておりました。また、各教科で、読み書きなど特定の領域で配慮を要する生徒に対して、漢字に振り仮名を付けたり、書き込むスペースを設けたりする工夫がなされておりました。</p>
教 各 教	育 委 育	長 員 長	<p>特別支援教育の調査結果については、以上になります。</p> <p>特別支援教育について、御意見、御質問等がありますか。</p> <p>ありません。</p> <p>それでは、特別支援教育の審議はこれで終了します。ありがとうございます。</p>
岡 崎	小 委 員 長	長	<p>ありがとうございました。</p> <p>暫時休憩いたします。</p> <p>(特別支援教育小委員会小委員長及び委員退室)</p>
教 育	長	長	<p>再開いたします。</p> <p>続きまして、7月27日に報告・説明をいただいた発行者が4者以上の教科用図書がある種目について、今後の審議の効率化と充実を図る観点から、それぞれ重点的に審議する対象とするものを絞り込み、今後の審議に臨みたいと思います。進行する順番については、前回会議で説明のあった国語・書写・地理・歴史・公民・数学・理科・保健体育・英語・道徳という順で審議を進めたいと思います。</p> <p>各種目とも、それぞれの委員の方から、採択方針を踏まえ、採択を見据えて重点的に審議することが適当とお考えの教科書について、3者までその発行者名とその理由について、御意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、もう一つ確認したいのですが、委員の皆さんの意見が一つになることが、最も良いことだと思いますが、全てが一致しない場合も出てくるかと思えます。今回については、効率的に採択を進める観点から、過半数を獲得した発行者を次回審議に残していくということで、進めていきたいと思えます。最終的な採択の際には、全体の合意を目指して、協議を進めていければと思えますが、よろしいでしょうか。</p>
各 教	委 育	員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、この手順で進めさせていただきます。</p> <p>それでは、まず国語から御発言をいただきたいと思えます。順番といたしましては、本田委員、滝山委員、近藤委員、山崎委員、私の順でお願いしたいと思います。</p> <p>それでは本田委員から、国語に関して、発行者についてのお考えを御発言いただきたいと思えます。よろしく願いいたします。</p>
本 田	委 員	員	<p>教育出版、光村図書、東京書籍を審議の対象としていただけたらと思えます。</p> <p>3者とも言語活動を通して、生徒の資質・能力を育成するという面ではさほど遜色がないものと思えました。とりわけ教育出版については、書く</p>

滝山委員	<p>この領域において、学習の流れが示されていて、生徒にとっても書く手順が、分かりやすい教科書となっていること、もう一点は、文芸的な作品ばかりでなく、読むことの領域においての説明文や論説文を重点的に学習することで、生徒の資質・能力の向上が図られ、促すことができる教科書として、この3者を挙げたところです。</p>
近藤委員	<p>私も、東京書籍と教育出版と光村図書を対象にしたいと思いました。</p> <p>基準としては、本市生徒の学習の状況等として3点説明がありました。簡単に言えば書く、読む、身に付けた力を生かすということで、この3者はそれぞれバランスが取れていると思います。</p> <p>私は、教育出版と光村図書の2者を選びました。</p>
山崎委員	<p>両方とも、最初に学習活動をどうやってやるのかという流れが明確に示されているのと、単元の終わりに振り返る、考えるような問題、内容が入っているのがこの2者であると思いました。</p> <p>さらに、漢字に関しても、教育出版はただ漢字を示すだけでなくワンポイントの興味を持たせる解説が入っていたり、光村図書では、漢字に関しては、まとまって入っているというよりはいろいろなページに効果的に入っていて、これもまた学習しながら漢字に親しむことができると思いました。</p> <p>本田委員と同じ意見なのですが、国語は読むだけでなく、考えたり、話したり、表現したりが求められているということで、私はどちらかというと教育出版の方が、いろいろなジャンルの話があることと、本の紹介のページもジャンル別に紹介していて、生徒たちが興味のある分野を探せる内容になっていると思います。</p>
教育長	<p>私は、2者で東京書籍と光村図書としました。</p> <p>読む領域において、生徒が話し合い、考えを深める活動が工夫されており、これが特徴的であったこの2者が良いのではないかと思います。</p>
各委員	<p>私も、光村図書、東京書籍の2者です。</p> <p>話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと、それぞれの言語領域の学習から見ておきますと、それぞれの言語領域の構成のバランスが良い面、また情報を活用して書くことや考え方を話し合う、そういった学習を深める工夫があるという点で、この2者を選びました。</p> <p>前提条件は、今回の場合は、各教科の学年の分野・領域ごとの目標の観点のバランスというところであります。</p> <p>国語につきましては、東京書籍が4人、教育出版が3人、光村図書が5人となりました。今後重点審議する教科書は、東京書籍と教育出版と光村図書の3者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
本田委員	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、国語についての次回の審議は東京書籍と教育出版と光村図書の3者を対象とします。</p> <p>次に書写に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思っております。</p>
滝山委員	<p>書写の目標は、毛筆を使用して学んだことが硬筆に生きる学びになっているかということであり、教育出版、東京書籍、光村図書の3者がこれを意識していると思いました。題材それぞれで硬筆、毛筆の連携を図ろうとしていたのは、教育出版が特に目立っていたと思いました。</p>
近藤委員	<p>私も、東京書籍、教育出版、光村図書の3者としました。</p> <p>本市生徒の学習の状況等で毛筆をどのように利用するか、それから硬筆に入っていくために毛筆を利用し、課題解決すること、そしてまとめ書きが大事ということ、硬筆のまとめ書きのために、毛筆も利用していくという点でこの3者がそれぞれ配慮されていました。</p>
近藤委員	<p>教育出版、東京書籍、光村図書で選ばせていただきました。</p>

山崎委員	<p>お二人とほぼ同じような意見ですが、筆使いや、学年ごとに習う内容が分かりやすく、さらに、筆使いが苦手な生徒でも分かりやすく書かれている工夫がある。教育出版が一番、筆使いが分かりやすいのと、あと楷書から行書へということで、行書とは何かはっきりと書かれており、学習する上で、どうして文字を崩して書くのかという知識も身に付くと思いました。</p> <p>さらに、様々な日常生活で書くということに生かせるような題材が示されているのが、この3者であったと思います。</p>
教育長	<p>東京書籍と教育出版の2者としました。</p> <p>本市生徒の学習の状況等について、書写において見られる課題解決の視点から、この2者は試し書き、まとめ書きの活動が工夫されていたように思いました。</p> <p>私は、教育出版と東京書籍といたしました。</p> <p>文字の正しい書き方、多様な表現方法、また効果的・実用的な文字の活用の仕方、文字の歴史や文化などの言語文化といった観点から、知識・技能・表現力、また学びに向かう力を高めることができる教科書ということで選びました。</p>
各委員	<p>書写につきましては、東京書籍が5人、教育出版が5人、光村図書が3人となりました。今後重点審議する教科書は、東京書籍と教育出版と光村図書の3者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
各委員	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、書写についての次回の審議は東京書籍と教育出版と光村図書の3者を対象とします。</p>
本田委員	<p>次に地理に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思えます。</p> <p>地理については、教育出版、帝国書院、東京書籍を選択しました。</p> <p>授業改善の視点に、知識に偏りすぎた指導にならないようにするためと、本市の生徒の実態の中に、多面的・多角的に社会事象を捉えさせようとする学習を位置付けるという意味で、この3者が適当と思いました。</p>
滝山委員	<p>私も、帝国書院と教育出版とそれから東京書籍です。</p> <p>社会はやはり世界、日本の両方に興味を持ってもらわなければならないので、ICTの活用で様々な画像が見ることができるとか、あるいは旭川の素材を使っている地域性が重要と思います。また、教育出版は地図帳の使い方が詳しく書かれており、地図を見ることでいろいろなことを想像できることをきちんと教育してくれるものと思います。</p>
近藤委員	<p>世界における日本の位置付けとか、あるいは、日本の様々なことを学べる工夫がされている点で、この3者を選びました。</p> <p>私も、東京書籍、教育出版、帝国書院を選びました。</p> <p>3者とも単元の初めに学習の手順や流れ、学習課題が示されていて、それに対して、見方・考え方を生徒たちが自分で考えて学習しやすいつくりになっていると思います。とりわけ教育出版は、「確認」、「表現」のところで、それぞれの地域の特徴を単元ごとに考えるつくりになっていると思います。また、東京書籍と教育出版は、地図の活用ということで、地図とリンクした学習の方法も示されているので、良かったと思います。</p>
山崎委員	<p>私も、東京書籍、教育出版、帝国書院としました。</p> <p>小中連携の観点と、各単元で学習したことを用いて、対話的な活動を行うことで課題解決を行う工夫が特になされていたのが、この3者であると思いました。</p>
教育長	<p>私は、帝国書院と教育出版といたしました。</p> <p>日本や世界の地域の諸事情、それから地域特性、調査や資料から様々な情報を効果的に活用して調べる、多面的・多角的な考察、社会的な課題に</p>

		<p>対して主体的に追求して解決していく態度，そういったこの教科の観点から，基本的事項の学習や多面的・多角的な考察力の育成，また，資料・データの活用，それから学んだことの確認，まとめ，こういった点で工夫のある教科書ということで選ばせていただきました。</p> <p>地理につきましては，東京書籍が4人，教育出版が5人，帝国書院が5人となりました。今後重点審議する教科書は，東京書籍と教育出版と帝国書院の3者とし，次回審議を進めさせていただきたいと思いますが，御異議ありませんか。</p>
各教	委員	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め，地理についての次回の審議は東京書籍と教育出版と帝国書院の3者を対象とします。</p> <p>次に歴史に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思えます。</p>
本	委員	<p>私が選択したのは，東京書籍，教育出版，帝国書院の3者です。</p> <p>東京書籍は，テスト形式に対応した項目があって良いと思います。それから確認・表現の仕方は，小中連携の関連から見ると教育出版が良いと思います，この3者にしたところですよ。</p>
滝	委員	<p>私も東京書籍，教育出版，帝国書院の3者です。</p> <p>日本では室町時代だとヨーロッパでは何の時代というような，世界を見るときに同じ時代にどういう人たちが生きていたかというのを述べているものが，きっと興味を持ってくれるのではないかと思います。</p> <p>この3者は，そういうものについて述べられており，歴史は今テレビでも多く取り上げられておりますので，物語として読みやすく，生徒たちが興味を持って学んでいけるような内容が良いと思いました。</p>
近	委員	<p>私も東京書籍，教育出版，帝国書院を選びました。</p> <p>3者とも教科書の流れというか，作りには大きな違いはないように感じましたが，しっかりと学習課題が示されていて，さらに，振り返って話し合うような表現の仕方の学習方法も示されていましたが，私は歴史が得意ではないので，そのような視点から考えると，教育出版が一番生徒たちの興味を引く内容であると思いました。特に，タイトルが興味をそそりまして，他の教科書では聖徳太子のところは，「聖徳太子の政治改革」というところが，教育出版では，「あつく三宝を敬え」という題名になっていたり，フランス革命のところだと，「代表なくして課税なし」とか，そのタイトルを見ただけでそのときの出来事が分かるので，教育出版の大きな特徴はここだと思ひ，私は教育出版を選びたいと思いました。</p>
山	委員	<p>皆さんと同じように，東京書籍，教育出版，帝国書院を選びました。</p> <p>本市生徒の学習の状況等から，資料の読み方や活用の方法，学習した内容を整理し，定着させることについて特に工夫がされていたのはこの3者であると思いました。</p>
教	委員	<p>私は，教育出版と帝国書院としました。</p> <p>滝山委員がおっしゃったことと近いのですが，我が国の歴史の流れを世界史というものを背景に，特色を踏まえた学びができることや，小学校での学びとのつながり，それから社会全般に言えると思いますが，多面的・多角的な考察，分かりやすく幅広く関連付けて歴史を学んでいく工夫という点から2者を選びました。</p> <p>歴史につきましては，東京書籍が4人，教育出版が5人，帝国書院が5人となりました。今後重点審議する教科書は，東京書籍と教育出版と帝国書院の3者とし，次回審議を進めさせていただきたいと思いますが，御異議ありませんか。</p>
各教	委員	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め，歴史についての次回の審議は東京書籍と教育出版と帝国書院の3者を対象とします。</p>

本 田 委 員	<p>次に公民に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思 います。</p> <p>日本文教出版，東京書籍，教育出版の3者を選びました。</p> <p>本市の生徒の実態あるいは課題の中に，合意形成に向けた話し合いを位置 付けるとあるのですが，特に日本文教出版で，合意形成の部分の単元の内 容が分かりやすかったです。それから，三権分立の表示の仕方も良かった と思いました。</p>
滝 山 委 員	<p>私は，東京書籍，教育出版としました。</p> <p>本市生徒の学習の状況等の中で，既知の知識を関連付けて学習内容を深 く理解するという点で，東京書籍，教育出版が詳しく述べてありましたの で，この2者が良いと思いました。</p>
近 藤 委 員	<p>私も，東京書籍と教育出版を選びました。</p> <p>公民もどの教科書も最初に教科書の使い方や，最後の確認事項というの は，同じようなつくりになっていると思いましたが，東京書籍と教育出版 は，その章ごとにまとめの活動や振り返りの活動が多かったように思いま す。帝国書院はそれが難しい内容になっているので選ばなかったのですが， 子どもたちが学ぶ上で，学習を繰り返して定着するというのはすごく大事 だと思いますし，公民は新しいことが次々と入ってきて，時代が変わって いくようなものではあると思うのですが，振り返ってまとめる活動がきち んとなされている点で，この2者を選びました。</p>
山 崎 委 員	<p>私は，東京書籍と教育出版と帝国書院を選びました。</p> <p>東京書籍と教育出版では，単元ごとの学習の振り返りの活動が充実して おり，帝国書院では，小中連携の視点から，小学校で学習した内容を掲載 する配慮がされており，良かったと思います。</p>
教 育 長	<p>私は，教育出版と帝国書院を選びました。</p> <p>公民分野の領域は広いのですが，そのバランスが全体にうまく取れてい る点や，小学校とのつながりの面，多面的・多角的な考察，分かりやすく 理解して，課題を考えていく，また情報を活用していくという点から，こ の2者を選びました。</p> <p>公民につきましては，東京書籍が4人，教育出版が5人，帝国書院が2 人，日本文教出版が1人となりました。今後重点審議する教科書は，東京 書籍と教育出版と帝国書院の3者とし，次回審議を進めさせていただき たいと思いますが，御異議ありませんか。</p>
各 委 員 教 育 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め，公民についての次回の審議は東京書籍と教育出 版と帝国書院の3者を対象とします。</p> <p>次に数学に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思 います。</p>
本 田 委 員	<p>数学的な表現を用い，簡潔・明瞭・的確に表現するなど，言語活動を重 視した点で見ました。また，問題解決を振り返って，評価・改善しようと する態度を養うことが必要であるという本市の生徒の実態に照らして，教 育出版，東京書籍，大日本図書の3者を選択しました。</p>
滝 山 委 員	<p>私は，教育出版と啓林館の2者を選びました。</p> <p>まず教育出版は，非常に分かりやすく丁寧に書かれており，問題の前に さらに平易なたしかめの問題もあります。また，着実に読んでいけば理解 できる内容であると思えます。啓林館は，難易度が高いので，数学が苦手 な生徒にとっては合わないかもしれませんが，良い教科書なのは確かだと思 いました。</p>
近 藤 委 員	<p>私は，教育出版と啓林館と大日本図書を選びました。</p> <p>教育出版のつくりが，単元の最初から最後までの流れがとても生徒たち には分かりやすく，章の終わりのまとめの問題が適量であり，途中で ヒントとなる内容も適量で，中くらいのレベルの生徒は，この教科書を</p>

山崎委員	<p>使っていけば伸びていくのではないかと思います。大日本図書は「ノートの作り方」が分かりやすく良かったことと、こちらも章の振り返りで力を伸ばすことができるようなつくりになっていました。さらに、数学が日常生活や世界の仕事などにつながっていることのコラムも良かったと思います。啓林館は、数学が好きな生徒にとっては一番良いのではないかとこの3者としました。</p>
教育長	<p>私は、大日本図書、教育出版の2者を選びました。 小委員長の説明にもありましたが、この2者は問題における解説が丁寧で、幅広い生徒たちに合うのではないかとしました。</p>
各委員	<p>私は、教育出版と大日本図書を選びました。 啓林館も悩みましたが、全体の生徒の学力を見るとそこまで選びきれなかったもので、2者としました。数量や図形などの基本的な概念とか原理、法則、そういったものの理解、また数学的な表現や処理、さらに論理的な思考の視点で、单元ごとに分かりやすく、理解しやすく説明がされていたり、振り返りなどの学習、数学の活用の点から、この2者を選びました。 数学につきましては、東京書籍が1人、大日本図書が4人、教育出版が5人、啓林館が2人となりました。今後重点審議する教科書は、大日本図書と教育出版と啓林館の3者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
教育長	<p>異議ありません。 「異議なし。」と認め、数学についての次回の審議は大日本図書と教育出版と啓林館の3者を対象とします。 次に理科に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思えます。</p>
本田委員	<p>小委員長の説明にもありましたが、教科的な特徴として、課題解決型の授業のしやすい教科ということで、実験・観察と手順を追って生徒が評価・改善までいける教科書はどれかと視点を定めた上で挙げたいと思います。私は、東京書籍、教育出版、啓林館を選びました。</p>
滝山委員	<p>私も、東京書籍と啓林館と教育出版としました。 理科では問題を見付け、その問題解決の手順や流れが大事ということが、特に理科では言われていますが、それに関して、この3者は丁寧に書かれています。また、学びやすい工夫がされているということで、この3者としました。</p>
近藤委員	<p>私は、東京書籍と教育出版と啓林館を選びました。 お二方とほぼ同じような内容ですが、まず、巻頭で科学に対しての興味を持たせる学習の進め方が示されていることと、安全に実験ができるような器具の使用の仕方も適切に書かれていますし、单元末に、学習内容の整理をしたり、応用を使って話し合っ、学習の定着ができる内容になっていると思います。さらに教育出版は他の教科と理科・科学がどうつながっているかが示されていて良かったと思います。</p>
山崎委員	<p>私も、東京書籍、教育出版、啓林館としました。 課題解決において、自分の考えを表現することを促すための工夫がされており、発表する力の育成につながるのではないかとしました。</p>
教育長	<p>私は、東京書籍と教育出版にしました。 自然現象への理解ですとか、科学的な探究のための観察・実験などの基本的な内容、小学校との結び付き、教科の内容の説明、観察や記録の仕方、考察や発表の仕方、また確かめ、そういった点で優れていることで、この2者を選びました。 理科につきましては、東京書籍が5人、教育出版が5人、啓林館が4人となりました。今後重点審議する教科書は、東京書籍と教育出版と啓林館の3者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>

各 教	委 育	員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、理科についての次回の審議は東京書籍と教育出版と啓林館の3者を対象とします。</p> <p>次に保健体育に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思ひます。</p>
本	田	委 員	<p>課題解決型の授業の流れというものを見たときに、教科書のつくりがそれに照らし合わせて良かったことと、今のコロナ禍において、感染症や疾病の予防の内容の理解を促すには、学研、東京書籍、大日本図書の3者が良いと思ひました。</p>
滝	山	委 員	<p>様々な生活習慣病の内容が書いてあり、今流行している感染症についてもどういふものが載っているのか、またがん教育についても、今後重要になっていくということで、東京書籍、学研、大修館書店の3者を選びました。</p>
近	藤	委 員	<p>どれもそれぞれ特徴があつて良かったのですが、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用については、どの教科書も全部書かれていたと思ひます。その中で、東京書籍、大日本図書、学研を選びました。大修館書店は、災害、特に地震について一番詳しく書いていたと思ひましたが、その他のポイントを合わせると、他の3者が上回りました。</p>
山	崎	委 員	<p>私は、東京書籍、学研が良いと思ひました。</p> <p>本市生徒の学習の状況等に触れられているように、ストレスに対処するための方法が特に丁寧を示されていたため、この2者としました。</p>
教	育	長	<p>私も、東京書籍と学研を選びました。</p> <p>運動や体力、健康、安全への理解、課題の発見と解決、それから公正、協力、自己責任、他者とのちがいという観点からみました。また、今日的な課題の設定、資料やグラフの活用から、この2者が良いと思ひました。</p> <p>保健体育につきましては、東京書籍が5人、大日本図書が2人、大修館書店が1人、学研が5人となりました。今後重点審議する教科書は、東京書籍と大日本図書と学研の3者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思ひますが、御異議ありませんか。</p>
各 教	委 育	員 長	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、保健体育についての次回の審議は東京書籍と大日本図書と学研の3者を対象とします。</p> <p>次に英語に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思ひます。</p>
本	田	委 員	<p>言語活動を通してコミュニケーションを図るという大きな中学校外国語の教科書の目標に照らして、教育出版、東京書籍、開隆堂の3者を選びました。この教科書にあつては、義務教育7年間の活動であり、かつ英語科という新しい教科書でありますから、特に小中の連携について重きを置く必要があると思ひ、昨年採択した小学校の教科書と一貫性を持たせました。</p>
滝	山	委 員	<p>東京書籍と教育出版と三省堂を選びました。</p> <p>それぞれディベートやディスカッションを工夫して設定していたり、特に、東京書籍は複数の題材が設定されていることもあつて、この3者が良いのではないかと思ひました。</p>
近	藤	委 員	<p>私は、東京書籍と開隆堂と教育出版を選びました。</p> <p>3者とも小学校の復習がしっかりしていることと、学習の見通しが立てられるつくりとなつていました。書く、聞く、考える、話すことがバランス良く示されていたと思ひます。ただ、東京書籍は、この3者の中では少し難しい気がしまして、小学校で英語をしっかり学んだ生徒が中学校で学習するには良いかもしれないですが、来年度から使用することを考えると、まだそこまで小学校の英語能力が上がっていなければ難しい気がしました。</p>
山	崎	委 員	<p>私は、東京書籍と三省堂と教育出版としました。</p> <p>小学校からの学習を振り返り、中学校の学習に円滑につなげていくこと</p>

教 育 長	<p>が重要ですので、その点において特に工夫がされていたのは、この3者であると思いました。また、ICTの活用の視点から、東京書籍と三省堂は、発音の口形動画が特徴的でした。</p>
各 委 員 長	<p>私は、東京書籍と教育出版の2者にしました。</p> <p>外国語の音声、語彙、表現、文法の理解、聞く、読む、話す、書くことの領域のバランス、また表現したりコミュニケーションを図ることを含めて、分かりやすく内容が充実している点で、この2者を選びました。</p> <p>英語につきましては、東京書籍が5人、開隆堂が2人、三省堂が2人、教育出版が5人となりました。今後重点審議する教科書は、東京書籍と教育出版の2者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思いますが、御異議ありませんか。</p>
本 田 委 員	<p>異議ありません。</p> <p>「異議なし。」と認め、英語についての次回の審議は東京書籍と教育出版の2者を対象とします。</p> <p>次に道徳に移ります。また同じ順番でお考えを御発言いただきたいと思えます。</p>
滝 山 委 員	<p>私は、日本文教出版、教育出版、光村図書の3者を選択しました。</p> <p>今回の学習指導要領では、いじめの問題への対応の充実というものがうたわれていたのですが、真摯にいじめに対する取組を工夫しているのは日本文教出版であり、かつ授業改善の取組の中に、自分の考えを元に討論したり書いたりする教育活動に十分満足する内容のノートを付けていることが一番の理由です。他の2者については、ノートはないことと、やや弱いのは、文芸的な作品をもって道徳の教科書としているところは厳しいのかなと思いつつながら、3者を選択しました。</p>
近 藤 委 員	<p>私は、日本文教出版、教育出版としました。</p> <p>小委員会での報告の中に、日本文教出版は、考え、議論し新しく発見した道徳的価値の理解を記述し、学びの足跡を残しておく工夫がなされていたとあり、これが一番今の道徳に関して大事なところだと思いました。また、本冊・別冊があるところも良いと思いました。また、教育出版もそれに準ずるのではないかと思います、この2者を選びました。</p>
山 崎 委 員	<p>私も、日本文教出版、教育出版の2者でお願いします。</p> <p>滝山委員と重複しますが、自分の考えをまとめて表現することと、日本文教出版はやはり最後にノートがあることで、他者の意見を聞いてそれを自分のものとして感じたものを書き留めて残しておくところが良いのではないかと思います。光村図書も迷ったのですが、本田委員と同様になります。読み物としてはとても良い作品があるのですが、もう少し違った日常的な問題とかも入ってくるとより良かったと思います。</p>
教 育 長	<p>私は、日本文教出版、教育出版、光村図書の3者としました。</p> <p>日本文教出版は、他の皆さんも言われているとおり、別冊ノートを活用して振り返りの活動をしていく上では有益であると思いました。教育出版と光村図書は、旭川市に関わる教材が取り扱われており、生徒にとって取り組みやすいと思いました。</p> <p>私は、日本文教出版、光村図書としました。</p> <p>基本的に日本文教出版の方が良いという印象はありました。皆さんと同じですが、自己の考えをまとめていく、人間としての生き方をしっかり考えていくこと、また他者との違い、あと多角的にどんなものを考えて深めて今日的なテーマ設定をどうしているかという観点から選びました。また、ノートが記録としてまとめる上でも非常に有効な教材だと思いました。次点ということで光村図書を選びました。</p> <p>道徳につきましては、教育出版が4人、光村図書が3人、日本文教出版が5人となりました。今後重点審議する教科書は、教育出版と光村図書と日本文教出版の3者とし、次回審議を進めさせていただきたいと思えます。</p>

各 教	委 育	員 長	<p>が，御異議ありませんか。 異議ありません。 「異議なし。」と認め，道徳についての次回の審議は教育出版と光村図書と日本文教出版の3者を対象とします。 以上をもちまして，絞り込みが終わりましたので，本日の審議はここまでとしたいと思います。 次回の教育委員会会議では，国語から採択を順次行ってまいりたいと考えておりますので，よろしく願いいたします。</p>
教 各 事 教	育 委 務 育	長 員 局 長	<p>《 そ の 他 》</p> <p>他に，何かありますか。 ありません。 ありません。 それでは，以上で令和2年8月第1回臨時教育委員会会議を終了いたします。</p>
			<p>《 閉 会 》</p>